

民間企業と行政の連携による新規就農者誘致に向けた研修等の取組

- 御殿場市及び裾野市は、標高を活かした質の高い水稻を中心に、露地野菜（甘藷、ブロッコリー、ネギ、水かけ菜など）、施設野菜（トマト、いちごなど）、果樹（加工用ぶどう、ブルーベリー、キウイフルーツなど）、多岐にわたる品目が生産されている。
- 一方で、両市とも農業者の高齢化に伴い農地の受け手確保が課題となっている。

【位置図】



静岡県御殿場市、
裾野市

取組前

- 地域農業において農地の受け手確保が急務となっており、新規就農者を効果的に誘致し、育成するための環境整備や支援体制の構築が必要とされていた。
- それに伴い、市、農業委員会、静岡県東部農林事務所、民間企業（株式会社時之栖、御殿場高原ワイン株式会社等）など、複数機関の協働による新規就農者の誘致・支援体制を構築に取り組むことになった。



取組内容

- 周知・広報活動：
新・農業人フェアへの出展のほか、ポスター、リーフレット、ウェブサイトを通じた研修生募集・PR活動を実施した。
- 優良事例を視察した。
- 短期農業研修の実施
社会人や自衛官を対象とした、いちご（半年・2日）・加工用ぶどう（2日）の短期研修を行った。
- 研修内容
いちごは、定植・防除・パック詰め等と座学から成る実践的な内容で、加工用ぶどうと併せて、延べ82名が研修に参加した。

取組後(成果)

- 令和7年度は、御殿場市で5名、裾野市で7名の新規就農者が誕生したほか、両市にて複数の企業誘致（相談含む）が進展した。
- 研修参加者の満足度は非常に高く、「自分で農業を始めたい」「農業法人に就職したい」など、多くの方から具体的な就農意欲が示された。
- 研修に参加した自衛官からも「農業への関心が湧いた」などの声が寄せられた。

【誘致体制】

分野	機関名
農業経営	農林、農業経営士、JA、市、(株)時之栖、御殿場高原ワイン(株)
農地確保	農業委員会、市、農地中間管理機構
施設・機械確保	JA、静岡銀行
生活安定	市
技術習得	認定農業者、農林、(株)時之栖、御殿場高原ワイン(株)
販路確保	JA、(株)時之栖、御殿場高原ワイン(株)

新規就農者や研修生の声

- 研修は土曜日の半日と及び日曜日に行われ、気軽に参加できた。
- 高温ハウス内での農薬散布など農業の大変な部分を実感できてよかった。
- いちご、加工用ぶどうとも、設備が高額で就農にはハードルがある。

新規就農者誘致環境整備事業 活用年度：令和7年度

【問合せ先】株式会社時之栖

TEL：080-3525-1456

E-mail：k_kato@tokinosumika.com

HP：www.tokinosumika.com/